

羽幌町 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)事業 検証結果一覧表

○検証方法 羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略推進会議(外部有識者)による検証(平成28年7月27日開催)

No	事業名	事業概要	事業内容	事業費 (千円)	重要業績評価指標(KPI)				評価	外部有識者による意見等
					指標	指標値	目標年月	実績値		
1	羽幌町総合戦略策定事業	第1次産業の振興による雇用の創出や住宅環境の整備による移住・定住者の増加等を目指す「総合戦略」を策定するため、必要な専門的調査を実施し、町民意見を反映させるための検討委員会を開催し、より実効性の高い総合戦略を策定する。	○就労、子育て、出産、結婚等に関する町民意識を把握するためのアンケート調査の実施(アンケート調査実施業務委託費) ○総合戦略等の策定に係る検討委員会の開催(会議経費(離島構成員旅費))	1,716	設定なし (ただし、総合戦略は検討会議において住民意見を取り入れ策定され、その後、推進会議によりPDCAサイクルの確立、KPIによる検証が図られている。)				有効的である	必要なアンケート調査の実施、町民意見を反映させるための検討委員会開催等第1次産業の振興による雇用の創出や住宅環境の整備による移住・定住者の増加等を目指す「総合戦略」を策定するために有効であった。
2	特産物魅力発信事業	本町は甘エビをはじめ豊富な地場産品に恵まれているものの、他の地域に比べると流通面で課題を抱えている。このため、新たな冷凍設備を導入し、また、水産物をはじめとした地場産品を広く周知するイベントを継続して開催することにより、特産物の魅力発信と第1次産業の振興による雇用増を図る。	○新たな冷凍設備や卓上ガスフライヤーの導入(設備等購入経費) ○地場産品の魅力発信のためのイベントの開催(甘エビまつり開催経費) ○町外で開催される食に関するイベントへの出店(くるもの社等イベント出展経費)	7,857	新規雇用者数	3名	平成28年3月	0名	有効的である	新たな冷凍設備の導入により新商品の開発が進められ、ふるさと納税の返礼品として活用されるなど導入効果が得られている。PR効果により特産物の魅力も年々浸透しつつあることから有効であった。
3	スポーツイベント活性化事業	スポーツイベントを継続し活性化を図ることによって、スポーツ合宿等を誘致し交流者の増や消費活動の活性化による雇用状況の好転を目指し、UIJターン者の増加や定住者の確保を図る。	○マラソン大会の開催とゲストランナーの招聘(マラソン大会開催経費) ○参加者のタイムを迅速かつ正確に測定する計測機器の導入(計測機器購入経費)	9,421	大会参加者	350名	平成27年12月	457名	有効的である	ゲストランナー招聘によるPR効果により、大会参加者の増加、タイム計測機器購入による迅速かつ正確な測定を実施出来たことから有効であった。
4	新生児誕生お祝事業	新生児誕生のお祝いとして、本町焼尻島のブランド羊の羊毛を使用した新生児用布団等をプレゼントし、地域全体で子育てを応援するまちづくりを進めるとともに特産品の新たな活用方法を検討する。	○新生児に対する「めん羊布団」の贈呈(布団等作成委託費)	679	出生数(2013年出生数の維持)	40名	平成28年3月	54名	有効的である	本町のブランド羊である焼尻めん羊の本来廃棄する羊毛を原料化して新生児へ布団等を贈呈することは、まちぐるみで子供の誕生を祝うという意味で、有効的であった。知らない人もいる様なので、もっとPRした方がより有効である。
5	郷土芸能を活用した移住・定住事業	町内にある郷土芸能保存団体の伝統や羽幌神社例大祭等の歴史的背景を、観光事業と連携し町外へ発信することにより、住民に誇りや郷土愛を根付かせ、若者の定住やUIJターンを促進する。	○地元郷土芸能団体活動の周知、活性化、保存経費	5,378	郷土芸能団体への加入者(平成26年度比10%増) 高校卒業定住者数	400名 10名	平成27年8月 平成28年3月	334名 0名	有効的である	郷土芸能保存団体の伝統や羽幌神社例大祭の歴史的背景を観光事業と連携し町外へ発信することは、住民に誇りや郷土愛を根付かせるためには、有効であった。今後、高校卒業者の定住が課題と思われる。

羽幌町 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)事業 検証結果一覧表

○検証方法 羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略推進会議(外部有識者)による検証(平成28年7月27日開催)

No	事業名	事業概要	事業内容	事業費 (千円)	重要業績評価指標(KPI)				評価	外部有識者による意見等
					指標	指標値	目標年月	実績値		
6	町の魅力発信事業	観光イベントを開催、また、都市圏におけるイベント等へ継続して参加することにより、町の魅力を広く発信し、交流人口の拡大を図ることで、UJターン者や定住者の増加を図る。	○宿泊施設におけるWi-Fiフリースポットの整備(設置工事費) ○魅力向上に伴う備品等の整備(無菌水発生装置・シーカヤック・シュノーケル購入経費) ○町外で開催されるイベントへの出店(S-1グランプリ等参加経費)	8,188	観光入込客数 (平成25年度実績+3,000名増)	96,500名	平成28年 3月	96,600名	有効的である	都市圏での観光情報発信による新たな顧客層の掘り起こし、離島での体験メニューの構築、Wi-Fi環境の整備等、KPIも達成されており、有効であった。今後はWi-Fi環境整備による外国人観光客の誘致やPRのしかたを検討しながらの体験メニューの定着を図っていくべきである。
7	バラ園を活用した地域活性化事業	道の駅であるバラ園を町民ボランティアの参画により管理、運営するシステムを構築することにより、バラ園の利用やバラを活用した商品開発等に結び付け、新たな魅力を発掘し、UJターン者の増加や定住者の確保に努めるほか、道の駅(バラ園)を中心とした地域活性化を図る。	○バラに関する講習会の開催(講習会開催経費)	254	講習会開催回数	4回	平成28年 3月	4回	有効的である	季節に応じて必要となるバラの主な管理手法を町民へ伝達出来、管理技術の向上が期待され、町民ボランティアの活躍の場として、まちづくりの足掛となり有効であった。今後はボランティアが飽きない作業内容を精査しながら継続して実施。
8	食・商工業活性化事業	基幹産業である1次産業の底上げと活気が低迷する商工業の活性化方策の促進を図り、産業全体を活発にすることによって元気なまちを創生する。	○町内農水産物の生産者等と都市圏企業等とのマッチングを目的としたDMの発送、無償サンプルの提供、意欲ある事業者等に対する各種商談会への出展・参加費用の支援(事業委託費) ○空き店舗の活用に必要な実態調査、不足業態(店舗)に関する要望の把握、事業者継承支援セミナー・個別相談の開催(事業委託費)	6,731	新規取引件数	60件	平成28年 3月	2件	有効的である	新たな取引までに至った件数は少なかったが、商談途中の商品もあるほか、都市圏の飲食店に地場産品を紹介出来、今後の販路拡大に向けたきっかけとなったことから有効であった。今後はターゲットを絞るなどしながら継続して実施。
					起業等に紹介可能な空き店舗	10件	平成28年 3月	3件	有効的である	